

甲府中学・甲府一高 東京同窓会会員の皆様へ

一紅会主催・第11回「春の講演会」開催のご案内

平成20年1月吉日

新しい年を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。恒例となりました一紅会の講演会を下記の通り開催いたします。

大勢の皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

日時:2007年3月8日(土) 13:00~16:00(12:30開場)

会場:アルカディア市ヶ谷(私学会館)3F 富士の間

千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921(代)

<http://www.arcadia-jp.org/>

会費:4,000円(懇親会費を含む。飲み物、軽食を用意しております。)

講師:東京理科大学教授 田沼靖一氏(S45年卒)

演題:「老いを科学する」

高齢社会の中を、いかにして健康に、自在に生きていくか。

「老い」を科学的に捉え直し、心ゆたかに生きるヒントを、テレビ・執筆にご活躍中の田沼教授に、幅広い視点からお話して頂きます。

ご出欠のご連絡は、2月10日までにこのメール(各学年の幹事宛)に返信してください。

なお、甲府中学・甲府一高東京同窓会ホームページでもご案内しております。

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~kf1-tokyo/index1.htm>

一紅会・春の講演会プロジェクト

当番幹事学年代表・村上真理子

甲府中学・甲府一高
東京同窓会会員各位

平成 20 年 1 月吉日

一紅会会長 飯田富美子

一紅会主催

第 11 回 『春の講演会』 開催のご案内

新しい年を迎え 皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、恒例となりました一紅会主催の『春の講演会』を、別紙ちらしの通り
3 月 8 日(土)に開催します。時節柄ご多用とは存じますが、多数ご参加下さい
ますようご案内申し上げます。

今回は、ゲノム研究の第一人者・田沼靖一氏をお迎えして、“老い”に就い
てお話を伺います。田沼氏は東京理科大学薬学部教授として、後輩の育成は
もとより、大学経営にも携わる一方、国内外の学会でのご発表やご著書も多
く、多方面でご活躍されています。

急速に長寿社会を迎えて、食料、福祉、医療等あらゆる面で深刻な問題を抱
えている日本では、これから益々、個としてアイデンティティを持って“老
い”を生きることは重要になると存じます。

テレビのご出演などで、難解なゲノムを身近なものにされた氏のお話は、解
かり易く面白いとの定評ですので、科学的に、哲学的にどんな風に解き明か
して下さるか、今から大変楽しみにしています。

お陰さまで講演会も回を重ねるごとに参加者も増えて、去年は 10 周年記念
という事もあり、300 名を超える大勢様のご出席を得て盛況裏に開催でき
ました。「来年も楽しみにして来ますよ。」とのお声を戴いて、私ども主催者
一同、励みに嬉しく思っております。

この講演会が「同窓文化」の支点として、更に高揚発展しますように念願
しております。どうぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう衷心よりお願い
申し上げます。

当日は皆様お誘い合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

「第 11 回講演会プロジェクトチーム」

水谷園江(40 副会長) 三田富貴子(44 会計) 井上若子 (30)
谷口百合子(36) 岡田美枝子(36) 村上真理子(45) 三井三枝子(45)
森田ひとみ(45) 佐々木まち子(45) 水出みよ子(45) 矢寄裕子(46)
山下恵子(46) 小川早苗(47) 山田陽子(47) () 内数字は卒業年次

第11回「一紅会」主催 春の講演会

老いを科学する

—サクセスフル・エイジング—

人にはなぜ老いと死があるのでしょうか。

「老いて死ぬ」宿命を科学の面から、しかも生命の源である遺伝子のレベルから理解し、不二の自分を自覚することによって、はじめて心豊かな老いへの道が見えてくる・・・。
それは単なる「老い」や「死」ではなく、人間に与えられたもっとも貴重な「贈り物」。
・・・「爆笑問題のニッポンの教養」に出演された田沼靖一先生が、
サクセスフル・エイジングのヒントをお話してくださいます。

講師 東京理科大学教授
田沼 靖一 氏



【プロフィール】

東京理科大学薬学部教授、同ゲノム創薬研究センター所長。
1952年山梨県甲府市に生まれる。

昭和45年甲府一高卒業。

東京大学大学院薬学研究科博士課程修了。薬学博士。

米国国立衛生研究所（NIH）研究員等を経て、

1992年東京理科大学薬学部教授。専門は生化学。

細胞の生と死を決定する分子メカニズムの研究をしている。

著書：

「アポトーシス 細胞の生と死」（講談社）1996年

「遺伝子の夢 死の意味を問う生物学」（日本放送協会）1997年

「アポトーシスと医学」（羊土社）1998年

「死の起源」（朝日選書）（朝日新聞社）2001年

「ヒトはどうして老いるのか」（筑摩書房）2002年

新刊：

「爆笑問題のニッポンの教養 ヒトはなぜ死ぬのか？生化学」（講談社）2007年10月末発行 田沼靖一・爆笑問題共著
NHKで放送された爆笑問題と田沼靖一氏との対談の内容が掲載されています。

＜会場案内＞



日 時：平成20年3月8日（土）

13:00～16:00（12:30 開場）

講演会（13:00～14:30）終了後、
引き続き懇親会を行います。

会 費：4,000円

懇親会（ロリポップパーティ）費を含む
＊ 飲物、軽食を用意しております。

会 場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
3F 富士の間

千代田区九段北4-2-25（左記の地図参照）

TEL 03-3261-9921（代）

出席・欠席のお返事は、**2月10日（日）**までに
同封ハガキにてお願いいたします。

★ 2008 甲府中学・甲府一高 東京同窓会 参加者名簿★

5月31日現在

卒業年度	参加者							人数
昭和13年卒	宮沢 邦夫							1名
昭和15年卒	伊藤 好民							1名
昭和16年卒	窪田 真							1名
昭和18年卒	深澤 祐次郎	山田 房男	渡辺 喜一					3名
昭和20・B年卒	五味 昭仁	小宮山 優	佐野 辰彦	島田 正二	志村 司郎	田中 尚夫		6名
昭和21・22年卒	加賀美 彰							1名
昭和23・24年卒	秋山 哲郎	植松 義和	坂本 順二	清水 和男	松本 一昌	横井 喜昌		6名
昭和25年卒	河西 郁雄	依田 智治						2名
昭和26年卒	小田切照男	喜多島豊三	鈴木 保秋					3名
昭和27年卒	恩田 宗	河内 三郎	成瀬 知則	宮沢 晃平	山口 武	井口 公弘		6名
昭和28年卒	有野 二夫	大久保 亨	大森潤之助	岡田 光郷	斉藤 豊	田村 禎夫		8名
	中澤 光晴	和田 實						
昭和29年卒	浅川 博道							1名
昭和30年卒	長田 康正	近藤 文子	寺田 溥	山本 富美子				4名
昭和31年卒	芦澤 修二	石井 澄夫	井上 幸彦	岩本 福喜	川崎 正	小池 武彦		9名
	高室晃三郎	名取 正	廣瀬 彰義					
昭和32年卒	鈴木 隆	外川 靖人	入戸野 清彦	吉田 正之				4名
昭和33年卒	秋山 要子	飯田富美子	笠井 莞爾	斉藤 芳樹	竹口 哲	三澤千鶴子		8名
	師岡 庄子	渡辺 元成						
昭和34年卒	斎藤憲弘							1名
昭和35年卒	一瀬 謙輔	小澤 勝雄	清水 寿典	田中 友昭	三神 國隆	志村 昌也		6名
昭和37年卒	青沼 丈二	雨宮 忠	三枝 靖夫	佐野 正史	樋泉 靖志	廣池 哲夫		6名
昭和38年卒	中澤 喜雄	岩田 勝夫	山田 常夫	小林 紀元	松沢伴行	渡辺房男		7名
	武内 紘司							
昭和39年卒	加々美睦夫	笠井 收	上田 修	田原 達人				4名
昭和40年卒	飯田 倫子							1名
昭和41年卒	山本秀彦	内藤 浩						2名
昭和42年卒	宇野 文子	横澤良次	八田 政恭					3名
昭和43年卒	三高千恵子	池田秀雄	竹中みゆき	柳本 教仁				4名
昭和44年卒	三田富貴子	土橋隆	峯川文江	野田進				4名
昭和45年卒	芦澤 精一	飯島登美夫	石川 弘	石原 光博	梅本 実	遠藤 幸子		28名
	大沢 俊彦	小口 弘毅	小澤 久美子	小野 雄司	加藤和之	橘田 稔		
	佐野 雅昭	塩見勝彦	設楽 久敬	篠原義明	田沼 靖一	遠山 克己		
	永井 桂子	水出 みよ子	望月 敏	森田ひとみ	森本 貴美子	山下 昌彦		
	渡邊 東	渡辺 好夫	中内 和美	百瀬良彦				
昭和46年卒	延命恵美子	小池 紀彦	篠原 尚之	鈴木 正恵	内藤 朗	内藤 江里子		10名
	名取 茂	細田 浩	守屋 正彦	菰澤 たづ子				
昭和47年卒	野中 章行	細田 仁	渡辺 正文	細田 仁				4名
昭和48年卒	青柳 靖元	辻 恵美子	林野 妙子	上田 健	八田 政仁			5名
昭和49年卒	清水 喜彦							1名
昭和50年卒	軽石 泰孝							1名
昭和52年卒	斉藤 義一							1名
昭和53年卒	小川 朗	石川晃一						2名
昭和55年卒	保坂 透							1名
昭和56年卒	厚芝 徹	神谷 ひとみ	菅野 悟	大塚 誠	鷹野 由香			5名
合 計								160名